

人生のどんな問題も解決する魔法のルール

先日、妻から図書館に行くのなら、鏡の法則を借りてきて！」とお願いされ、借りてきました。私は初版が発刊されて、ブームになったすぐその時に一度読んでいましたが、図書館に返す前に改めて再度読み直しました。

又、涙ポロポロと感動しながら読みました。(前回も同じでした！とほほ！涙もろい細チャンでした) 皆さんは、この大ヒットした著書「鏡の法則」(2006年5月23日発行、野口嘉則氏、綜合法令出版) ご存知ですか？

とってもいい本ですよ。EQ、コーチング、心理学を優しくドラマ仕立てにした本です。もし、読んでいないのであれば、ほんの30分もあれば読めますから、是非ともお勧めします。

その著書にこんなことが書いております。

現実に起きる出来事は、一つの「**結果**」です。

結果には必ず**原因**があり、その原因は、あなたの心の中にあるのです。

つまり **あなたの人生の現実**は、**あなたの心を映し出した鏡**だと思ってもらいたいと思います。(1P)

必然の法則」というのがありますね、それを学ぶと次のようなことがわかるんです。

じつは、**人生で起こるどんな問題も、何か大切なことを気づかせてくれるために起こる**んです。

つまり偶然起こるのではなくて、起こるべくして必然的に起こるんです。

とらことは、**自分に解決できない問題は決して起こらない**のです。

起きる問題は、すべて自分が解決できるから起きるのであり、前向きで愛のある取り組みさえすれば、後で必ず「あの問題が起きてよかった。そのおかげで……」と言えるような恩恵をもたらすのです。(40P)

問題を解決するシンプルな法則

私たちの人生の現実、私たちの心の中を映し出す鏡である」という法則
これが「鏡の法則」です。(68P)

人生で起こるどんな問題も、何か大切なことを気づかせてくれるために起こります。

そしてあなたに解決できない問題は決して起きません。

あなたに起きている問題は、あなたに解決する力があり、そしてその解決を通じて大切なことを学べるから起きるのです。」(90P)

<経営のヒント>

「良書」は、時々読み返すといいですね。新鮮に感じます。

私は研修などで、「客観的」と「主観的」そして「生体的」とい言葉を使っております。

この「生体的」とは、まさにこの「鏡の法則」の考え方です。

今、目の前に起きている現実の問題を全て自分の問題として捉える考え方です。

「この問題は自分の問題だ！」と感じられた時から、問題解決がスタートします。

そしてその問題の「真の原因」が見えた時には、80%は解決出来たと言われております。

しかし、多くの人は自分を守ろうとして「客観的」な立場や視点に立って、批判や分析することに終始して、「自分の問題」だとは思えないのです。

その時こそ、この「必然の法則」「鏡の法則」を思い出して、勇気を持って行動したいですね。